



陽子の道政だより

1

1991年6月
発行 平出陽子後援会
発行責任者 上田小八重
連絡先／函館市中島町2-8
北教組函館支部内
(☎51-2254)

初陣で見事に高位当選！



四月七日(日) 午後九時四〇分
道議選即日開票でテレビが、平出陽子の「当選」を報じた瞬間です。
事務所は、初陣の候補で高位當選を果した感激で、声にならないほどよめきで一杯になりました。

◇ ◇ ◇

昨年十二月十日に正式に立起表明して以来、約四ヶ月の闘い。
知名度が低い新人、「ヒライデ」ではなく「ヒラデ」です。から始まつた活動は本当に厳しいものでした。十二月二十日、一月三十一日、そして三月十三日の三回にわたる「総集会・励ます会」「語る会」「総決起集会」の開催を経て、手ごたえがしだいに拡まってきました。

◆ ◆ ◆

「女性の声を道政に」が、ご年輩の方々から歓迎されました。
平出陽子の任務のひとつとなりました。



私の決意 平出陽子

私は、次の五つの課題に「ニニニラ豈がざ」が必要であることを訴えました。

①街づくり ②教育のあり方 ③福祉の充実 ④平和と緑へふるやとづくり ⑤女性参加の社会づくり、です。

急速に発展する物質社会に、人間の「ニニラ」

がついていけない現状をじ配しているからです。

これらの、どれひとつを取り上げても、大変な課題で、すぐには眼に見える改善は難しいかもしません。しかし、人間を大切にする「ニニラ」があれば、お年寄や障害者の福祉は充実されるはずですし、また、子ども達の教育は本当に子ども達のものにすることができると思つております。この気持で、五つの課題にとりくんでいく決意でおります。

「道政だより」の紙面に「陽子の道政日記」欄をつくりつけていただき、私の考え方や体験を報告させていただきたいと考えておりますので、ご指導くださいますようお願い致します。

五月九日、選舉後の臨時道議会が開かれましたが、わが平出陽子は、十六年ぶりに臨みました。

マスクミニの取扱に対

して、「

増えたと

言つてもまだ二人。

責任を痛

感します。」

と答え、

任務の重

任が決まりました。

ナをかみ

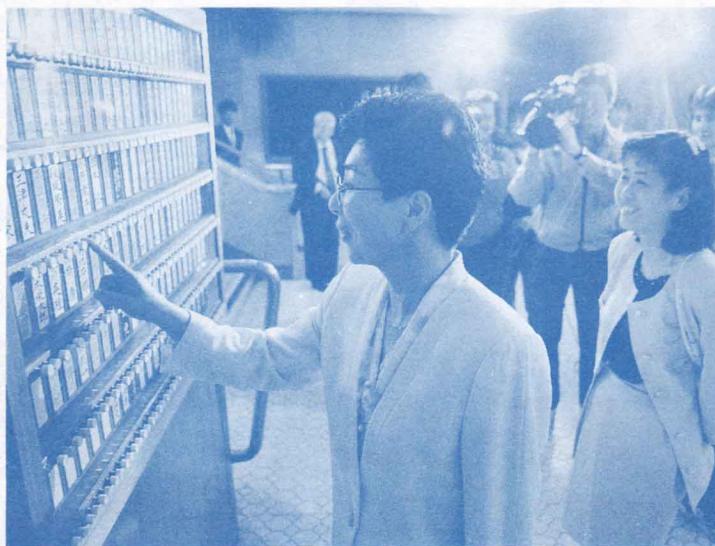
しめいま

ました。

議長人

事を巡つ

タ刊がら)



緊張ぎみに『初登院』の平出陽子（左）、小原葉子の両議員

相を初議会へ集め

数となつた女性議員の一人として

初議会

に臨みました。

支部長

・土井たか子と共に仲間をつくる道南の会・副会長

・朝鮮女性と連帯する函館の

会・会長

・日本婦人会議函館支部・副

・議会運営委員会

・交通安全対策特別委員会

・文教常任委員会

りに複数の委員会で活動する

議員として、初議会では、地

域では、議会では、

平出陽子の主な役職

・日本婦人会議函館支部・副

・議会運営委員会

・交通安全対策特別委員会

・文教常任委員会

りに複数の委員会で活動する

議員として、初議会では、地

域では、議会では、

平出陽子の主な役職



さく電
部局予算要求と
各種団体との意見交換に
参加

人と自然にやさしい政治
は、日常生活から始めるべ
きといふ持論からの発言で
した。

五月十七日に臨時議会
交換の場がありました。

が終りましたが、一年生
議員には、五月二十日か
ら二十四日まで、各部局
等からの「重点事業予算
要求」の聴取と、八十を
越える各種団体との意見

人による政治は
日弟生活から
平出陽子は、宿舎か
ら議会まで自転車で通
う二とがあります。

また、障害者のための自動ドアのタッチについても
机上プランではなく、障害
者の要望を聞くように強く
主張しました。

**思わず
ありがとうございます。**

函館市には道指定の車両
が数多くありますが、その
ひとつは整備に予算がつき
ました。「車椅子とお年寄
り、小さな子供達にやさ
しくない。」

担当の〇〇
部は無言、と
いうところで
言いました。

また、幼保（保育）一元
化問題の調査費で、平出陽
子は積極的に進めるよう発
言しました。

子供達の健康は、みんなが望むこと。しかし
子供も急死対策として、すぐに学校でじ電図をと
いう発想には疑問。設備の整った施設（病院）で
個人個人が無料で検査できるようすべきと思う。

▽学校での医療に疑問△

5月24日

5月18日



**陽子の
道政日記**



初めての道議会。会期延長、そして深夜議会も
経験して五月十七日終了。道民に開かれた議会運
営は当然のことながら、少數与党の辛いところ。
会議録を読みながら、専ら充電につとめる。

▽言葉使い・名稱を慎重に△

5月20日

道が使っている言葉や名稱の無神経さに驚く。
例えば、「婦人就労支援センター」は「女性労働
センター」に、「帰国子女」は「帰国児童・生徒」
に変えただけで、討議が穏かに進むのに。

女性の自立ハンドブック



ます。

あらゆる男女

差別を撤廃する

「老年期」の四つの世代に分けて、それぞれの世代の課題を「道民は」「地域では」「行政は」の

十年」に始まり「婦人年と翌年の「国際婦人の

九七五年（昭和五〇年）の国際婦人年がスタートは一

動く女性が
五〇%以上に

「自立プラン」は、この「行動計画」を受け継ぐものです。

されました。

「自立プラン」は、こ

の「行動計画」を受け継ぐものです。

立場から考えるべきであると方策を述べています。

右の表は「労働人口、

労働率の推移をまとめたものです。（六ドゾクマリ）

一九九〇年（平成二年）で、女性の労働率がようやく五〇%越え、差別撤廃に向けた一つの転機であることは確かです

が、まだまだ問題が残つ

ております。（以下次号）

なことでも構いません。

事務局へご連絡ください。

シリーズ紹介します

北海道女性の自立プラン

その1

北海道は、一九八七年（昭和六二年）に、「北海道女性の自立プラン」を策定しました。

私は「女性の声を道政に」と訴え、現在の任務明させていただき、みなさんと一緒に考えていくたいと思います。

道内では一九七八年（昭和五三年）に「北海道婦人行動計画」が策定されました。

労働力人口、労働力率の推移

年	女子		男子		労働力人口に占める女子の割合(%)
	労働力人口(万人)	労働率(%)	労働力人口(万人)	労働率(%)	
昭和50年	1,987	45.7	3,336	81.4	37.3
55	2,185	47.6	3,465	79.8	38.7
60	2,367	48.7	3,596	78.1	39.7
61	2,395	48.6	3,626	77.8	39.8
62	2,429	48.6	3,655	77.3	39.9
63	2,473	48.9	3,693	77.1	40.1
平成元年	2,533	49.5	3,737	77.0	40.4
2	2,593	50.1	3,791	77.2	40.6

資料：総務省統計局「労働力調査」

「平出陽子後援会」が昨年十二月発足してから「後援会ニュース」をハガキまで発行いたしました。

「あとがき」

見事、初陣で高位当選を果し、五月九日から議会活動をしておりますので、平出陽子の活動を

「陽子の道政だより」で報告することにいたしました。

「陽子の道政だより」では、平出陽子の活動だけでなく、後援会のみなさんの欄をも設けていきます。

たとえば、「陽子の道政だより」ではなく、後援会のみなさんの欄をも設けていきます。

お気付キの点は、どん